

## 令和2年度第10回南区協議会次第

日時：令和3年2月24日（水）午後1時30分から  
会場：南区役所 3階 大会議室

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 協議事項

令和3年度南区地域力向上事業（助成事業）の提案について

【南区区振興課】

### 3 その他

### 4 次回以降の開催予定

第11回 日時：令和3年3月25日（木）午後1時30分から  
会場：南区役所 3階 大会議室

令和3年度

第1回 日時：令和3年4月28日（水）午後1時30分から  
会場：南区役所 3階 大会議室

### 5 閉会

令和2年度第10回南区協議会

# 事前配付資料

## 【協議事項】

令和3年度南区地域力向上事業（助成事業）の提案について

【南区区振興課】



第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項											
件 名	令和3年度南区地域力向上事業（助成事業）の提案について											
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>地域力向上事業とは、市民協働の手法により住みよい地域社会を実現するため、市が実施又は支援する区の特徴を活かした事業や課題を解決する事業である。</p> <p>○市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業</p> <p>浜松市地域力向上事業実施要綱第8条第1項に基づき、助成事業の採択に当たっては、区協議会に意見を求め、その意見を踏まえて実施予定助成事業を決定する。</p>											
対象の区協議会	南区協議会											
内 容	<p>広報はままつにて令和3年度地域力向上事業（市民提案による住みよい地域づくり助成事業）の提案について募集をした。応募のあった事業提案の採択に当たって、区協議会の意見を伺うもの。</p> <p>&lt;提案事業&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>事業名</th> <th>提案団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>やらまいかノルディック・ウォーク</td> <td>M笑むP</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024 Sanctuary 計画</td> <td>浜松市ビーチバレーボール連盟</td> </tr> </tbody> </table>			No.	事業名	提案団体	1	やらまいかノルディック・ウォーク	M笑むP	2	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024 Sanctuary 計画	浜松市ビーチバレーボール連盟
No.	事業名	提案団体										
1	やらまいかノルディック・ウォーク	M笑むP										
2	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024 Sanctuary 計画	浜松市ビーチバレーボール連盟										
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	区協議会での意見を踏まえて実施予定助成事業を決定し、提案団体へ選考結果通知書を通ずる。											
担当課	南区区振興課	担当者	渡邊・池谷      電話      425-1120									





令和 3 年 1 月 29 日

(あて先) 浜松市

所在地 浜松市南区

団体の名称 M笑むP (えむえむぴー)

代表者役職・氏名 武藤 文美

連絡先 Tel 053-425-7897

次のとおり、事業を提案します。

事業名	やらまいかノルディック・ウォーク
実施時期	令和3年11月7日(日) 予定
実施場所	南区内 (遠州灘海浜公園 (石人の星公園) ほか)
概算事業費	294,300円
参加予定人数	団体スタッフ 20名、参加者 150名
事業の目的	<p>*何のためにその事業を実施したいのか具体的に記入          令和2年度に本格的に事業を実施。コロナ禍の中でできる限りの対策を講じて参加者約100名が南区の魅力のいくつかを歩いて感じ取っていただけた。          年齢も幼稚園児から80代まで幅広く2コース(およそ6Km、10Km)休憩ヶ所も設けたため無理のない歩行ができ全員が完歩。          市民の健康への関心の高まりもあり、ノルディック・ウォークのさらなる普及と、普段は歩かない場所を歩くことにより気づかなかった自然や街並み、風景を再発見することを目的として今年度も実施する。</p>
事業の内容 (事業の対象や手法などを具体的に記入)	<p>*内容がわかる詳細資料を別途添付          事業内容: ノルディック・ウォーク体験会、初心者のための公認指導員による講座の開催等、およそ10Km若しくは6Kmの2コース用意。          全員完歩を目指す。          周遊コース: 遠州灘海浜公園(石人の星公園) → 防潮堤 → 虚空蔵寺 → 馬込川沿い → 遠州灘海浜公園(石人の星公園) (予定)          参加対象: 主に南区に在住・在勤している市民          集合解散: 遠州灘海浜公園(石人の星公園)</p>
事業効果	<p>*その事業に取り組むことによって、区民がどのような効果を受けるか。          ・健康寿命の延伸          ・幅広い年齢層へのノルディック・ウォークの普及          (特に家族や仕事仲間での参加が増えることを期待する)</p>
備考	コロナ禍の為、開催可能であるか否かは県、及び浜松市に準ずる。

第2号様式（第6条関係）

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	117,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金・2回目)
参加費	136,000	大人 1,000円×130人=130,000円 子ども 300円×20人=6,000円
自己資金	41,300	
計	294,300	

2 支出の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)	
報償費	10,000	MC 謝礼	
賃金	93,500	当日運営スタッフ 885円×20人×5時間=88,500円 救護スタッフ(看護師) 1,000円×1人×5時間=5,000円	
需用費	消耗品費	70,250	完歩賞 300円×150個=45,000円 事務用品、コピー用紙、インク代、除菌水
	印刷製本費	30,000	チラシ製作費、資料製作
	食糧費	20,000	熱中症他対策経口補水液、タブレット代
	医薬材料費	12,000	救急用品、検温器
役務費	保険料	8,550	保険料 50円×171人=8,550円
使用料及び賃借料	50,000	音響機器運搬費用(メンテナンス込)	
計	294,300		

団体の概要書

団体名	M笑むP（えむえむぴー）			
事務所の所在地	浜松市南区 （ 専用事務所 ・ 住居兼用 ・ その他 ）			
	電 話	053-425-7897	F A X	053-425-7897
	ホームページ			
代表者役職・氏名	武藤 文美			
担当者連絡先	氏 名	武藤 文美		
	電 話			
	F A X			
	Eメール			
設立年月日	2011年10月22日			
会員数	8名			
団体の目的	“すべての人が健康に”を合言葉に合理的な全身運動であるノルディック・ウォークを健康運動として普及活動に励むことを目的とする。			
主な活動内容	別紙参照			

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付





第1号様式（第6条関係）

事業提案書

令和 3年 1月 29日

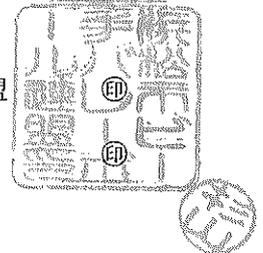
（あて先）浜松市長

所在地 浜松市東区

団体の名称 浜松市ビーチバレーボール連盟

代表者役職・氏名 理事長 杉山幸子

連絡先 Tel



次のとおり、事業を提案します。

事業名	ビーチバレーボール聖地化への競技人口拡大事業 2024Sanctuary 計画
実施時期	令和3年4月 ～ 令和4年3月
実施場所	遠州灘海浜公園江之島ビーチコート
概算事業費	1,697,098円（うち補助対象経費：1,497,098円）
参加予定人数	・聖地浜松杯 団体スタッフ40名 参加者64名 キッズスクール50名 ・Jr練習会 団体スタッフ4名 参加者 延べ200名（最大500名） ・浜松市長杯 団体スタッフ4名 参加者 延べ144名
事業の目的	浜松市が進める日本最大規模のビーチコート完成に合わせ、ビーチバレーボールの競技人口を拡大させる。 浜松市南区を日本一ビーチバレーボールが盛んな地域にし、名実ともにビーチバレーボールの聖地化をめざす。
事業の内容 （事業の対象や手法などを具体的に記入）	・JBV シリーズ【聖地 浜松杯】<4月または5月開催> 日本のトップランキング16チームによる大会の開催。 東京オリンピック出場決定戦（5月末または6月初旬開催予定）の前哨戦として開催。 参加選手との体験スクールを併催する。 ・市内中高生を対象としたJr練習会<月1回年間10回程度の開催> ・市内中高生を対象とした大会（仮称 浜松市長杯）<年3回開催>
事業効果	・浜松市の掲げるビーチ・マリンスポーツの聖地化の取り組みを、市民及び全国のビーチバレーボール関係者に伝える一助となる。 ・スクール及び観戦を通し、中高生にビーチバレーボールの楽しさを体験してもらいビーチバレーボールに興味を持ってもらう契機となる。 ・Jr練習会、大会を通じ年間を通してビーチバレーボールを楽しむ機会を創り、競技人口を拡大させる。
備考	

第2号様式 (第6条関係)

収支予算書

1 収入の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)
補助金	748,000	地域力向上事業(市民提案による住みよい地域づくり事業費補助金)
参加料	472,000	聖地浜松杯 320,000円・Jr練習会 80,000円・浜松市長杯 72,000円
自己資金・協賛金	477,098	(うち200,000円は補助対象外経費分)
計	1,697,098	

2 支出の部

単位：円

区分	予算額	経費内訳(単価・数量)	
報償費	410,000	審判員謝礼 (5,000円×17人×2日=170,000円) 競技委員謝礼 (5,000円×10人×2日=100,000円) 中高生コートオフィシャル (10,000円×4校×2日=80,000円) 市長杯審判他 (5,000円×4人×3回=60,000円)	
賃金	237,000	前日準備及び当日運営スタッフ (885円×8時間×5人=35,400円) 救護スタッフ (30,000円×2日=60,000円) 練習会講師 (885円×4時間×4人×10回=141,600円)	
旅費・宿泊費	160,000	県外審判旅費 (20,000円×4人=80,000円) 県外審判員宿泊費 (10,000円×2泊×4人=80,000円)	
需用費	消耗品費	176,000	試合球 (5,500円×20個=110,000円) 聖地杯12球・市長杯8球 消毒用アルコール、ハンドソープ等 (30,000円) 市長杯商品 (1,000円×12個×3回=36,000円)
	食糧費	72,000	熱中症対策飲料 (52,000円) 氷 (20,000円)
	印刷製本費	32,000	チラシ印刷費用 (2,000枚×5円=10,000円) デザイン代20,000円 コピー費 2,000円
役務費	保険料	41,928	スポーツ保険

使用料及び賃借料	368,170	会場使用料 聖地杯 11,000円×2日=33,000円 Jr 練習会 4,400円×10日=44,000円 市長杯 11,000円×3日=33,000円 レンタル代(聖地杯) テント他 258,170円
賞金	200,000	聖地杯200,000円 (補助対象外経費)
計	1,697,098	

第3号様式（第6条関係）

団体の概要書

団体名	浜松市ビーチバレーボール連盟		
事務所の所在地	浜松市東区 ( 専用事務所 ・ 居兼用住 ・ その他 )		
	電 話		F A X
	ホームページ		
代表者役職・氏名	理事長 杉山幸子		
担当者連絡先	氏 名	池谷 英丈	
	電 話		
	F A X		
	Eメール		
設立年月日	2019年12月5日		
会員数	20人		
団体の目的	<p>ビーチバレーボールの普及、振興を図り、浜松市のビーチ・マリンスポーツの発展に寄与する。</p> <p>上記の目的のために次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビーチバレーボールの普及、振興のための事業</li> <li>・ビーチバレーボールの大会の開催と大会誘致のための事業</li> <li>・その他ビーチバレーボールに関する事業</li> </ul>		
主な活動内容	<p>2020年度活動実績（主催、主管大会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JBV 公認大会（プレス浜松カップ）</li> <li>・U18 HAMAMATUS CUP</li> </ul>		

※必要に応じて、団体の詳細がわかる資料を別途添付





## 浜松市文化財保護審議会は「ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料」を 浜松市有形文化財に指定するよう答申しました

浜松市文化財保護審議会（会長 笹原恵 静岡大学副学長）は、2月18日、浜松市南区の「ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料」を浜松市有形文化財（歴史資料）に指定するよう、浜松市教育委員会に答申しました。今後、答申通り指定されると、浜松市指定有形文化財は197件を数えるようになります。

今回答申された資料は、イギリス商船ジェームズ・ペイトン号の遭難事件に関する明治8年（1875）から明治9年（1876）までの資料で、南区福島町に伝わり、ガラス製のワイングラス、栓付デカンタ、蓋付菓子器、把手付盆から構成される器物類、及び、遭難事件のてん末を記した文書・記録類から成ります。

遭難した船員らに対し、当時の福島村（現・南区福島町）村民を中心とする人々が、人道的かつ親切に対応し、これにイギリス政府が謝辞や贈り物等でこたえるなどのてん末がたどれ、市下、民間での良好な国際交流をよく伝えるものであることなどが評価されました。

### 記

種別	有形文化財（歴史資料）
名称等	ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料 一、器物類 4口、2本、1合、1面 一、文書・資料類 19冊、14通、5枚
所在地	浜松市南区福島町
所有者	個人
公開情報	パネル展「ジェームズ・ペイトン号遭難事件関係資料」 ① 日時 令和3年2月19日（金）から3月5日（金）まで 場所 五島協働センター 電話 425-9147 ② 日時 令和3年3月25日（木）から4月7日（水）まで 場所 南区役所1階ホール 電話 425-1382



写真1 器物類



写真2 文書・記録類